

宮古島のこと

産業開発青年隊同窓会 会長 鈴木 浩明

昭和41年宮古島を襲った風速85.4mのコラ台風。当時沖縄は、アメリカ統治下であり、簡単に沖縄へ渡航することはできなかったはずですが。

長澤先生は、ニュースで宮古島の被害を知り、産業開発青年隊の出動を決断しました。建設省はもちろん、総理府、陸運局、大蔵省、南方同胞支援会、琉球政府、アメリカ民政府など関係機関との折衝をし、約1か月後宮古島災害復旧派遣が実現しました。詳細は、別添の開発青年12号に記載されていますので、そちらを参照してください。

本年令和4年9月、風速60m級の台風11号が沖縄方面を停滞しながら、日本海側を北上していきました。

私は、宮古島市のホームページへ、台風に関するご挨拶をし、昭和41年コラ台風の災害復旧に、産業開発青年隊が出動し、その記念碑が宮古島市熱帯植物園内に現存していること、数年前に私が、記念碑の確認に宮古島市を訪問したこと、そして産業開発青年隊の生みの親である長澤先生の遺稿集「富士の如く」を寄贈したい旨を連絡いたしました。

宮古島市立図書館の奥平様より

鈴木様

お世話になります。

宮古島市立図書館の寄贈担当の奥平と申します。よろしく申し上げます。

鈴木様より宮古島市HPに寄せられたメールを拝見いたしました。

長澤亮太氏の遺稿集「富士の如く」のご寄贈の件、ありがたく拝受いたします。

つきましては、お手数ですが下記の住所までご送付よろしく申し上げます。

コラ台風から60年余、今もこのように宮古島へお心を寄せてくださることに深く感謝申し上げます。

と返信がありました。直ちに「富士の如く」を郵送しました。そしてメールで、当時の記録を掲載してあった 開発青年12号 を送りました。そして奥平様より

産業開発青年隊同窓会 会長 鈴木様

お世話になっています。宮古島市立図書館の奥平です。

早速、ご寄贈の図書をご送付いただいたとのこと、ありがとうございます。

また添付資料の「開発青年」もご提供くださりありがとうございます。

もしよろしければ、この「開発青年」をプリントアウトして、図書館内に置き、希望の方にさしあげてよろしいでしょうか？

受領書の件も承知いたしました。

とありましたので

ぜひ活用していただくように返答いたしました。

宮古島災害復旧より56年。宮古島市と絆を再度結ぶことができました。

これがまた良い方向に向かうことを祈念いたします。